

しなやか通信 第37号

2011年 秋

輝き続けることを望み手作りの活動を！
 発行 しなやかシニアの会
 事務局 リュエルしなやか
 住所: 520-0043 大津市中央1丁目8-27
 電話/FAX : 077(558)7233
 e-mail: shinayaka077@nifty.com
 HP: http://www.shinayakashinia.com/

戦争体験の語り部として精力的に行動されていた平野喜三氏が、終戦記念日を前にして旅立たれました。8月13日に参加した戦争体験の講演会では、「戦争を起こそうとする者と、戦争を許す者がいて戦争が起きる、戦争をしなくていい平和な世界を作りましょう」と訴えられました。まだまだお聞きしたいことがあり、「ではこの次」にとお別れしたのが最後となりました。平野さんと初めてお会いしたのは、当会がスタートして3年ほど経った頃でした。私たちの活動の主旨をお話すると「高齢者の憩いの場、早よ一作ってや」と励ましの言葉を頂きました。以来、物心両面でいろいろ

お世話になり、私たちの活動を後押しして下さいました。しなよかの行事にも随分とご参加頂きました。柔和な姿の後ろに、実はシベリヤ抑留から脱走し生還されたこと、並み外れた才覚と努力で事業に成功され、この戦争体験の原点から国際交流に力を注いで来られたことなどを知りました。当会が町家を借り、「リュエルしなやか」と名付け拠点としてからは、時々自転車で立ち寄り、いろいろなお話をして下さいました。間もなく91歳の誕生日を迎えられるはずで、リュエルでお祝いしましょうねと話していたのに・・・でも大往生、平野さん万歳！



9/10 講演会参加 感想

瀬田川病院水元洋貴先生の講演「認知症について考えましょう」に中学の同級生と二人で参加しました。講師のゆっくりと丁寧な話ぶりは、診察室でやさしく患者さんやご家族に問診されてる風景が想像出来ました。

「認知症の症状幻覚、妄想には、薬が良く効くことがある。困った症状には効くが、人間性、その人らしさが失われる。また介護対応によって改善される。」と話された。知っていたことですが、生の声を聞いて、認知症のお世話をする人誰でもが、良い対応が出来るといいけど出来ないよなぁと思う。

「認知症の知識をしっかり共有してれば母は今のようではなかったのでは・・・」とフロア発言をされた男性の言葉が今も耳に残ってる。「アルツハイマー型認知症の初期では記憶力は下がるが思考力も判断力も保たれる。」「感情や尊厳を大切にしてもらえるかなあ？85歳になったらどっちが元気やる」と言いながら、二人とも今のままでいたいと顔を見合わせ良い時間を過ごせたことに感謝しました。 A・H

リサイクルコーナーを始めてから一年たちました。
 最近リサイクル品が少なくなっています。
 “リュエルしなやか”を維持していくためにも、是非皆様のご協力を頂きたいと思ひます。

リサイクル品の出品をお待ちしております！！

7/23 ワークショップ

私たちが求める「老後の共同住宅」に参加して思う事
 ようやく秋の風情。いつしか高齢者問題がお決まりの話題のひとつとなり、そして……ああ、私もまさに人生の秋だ……と改めて実感。そういえば、老後の住まい・生き方などの記事を切り抜いてもいた。そんな折、『高齢者施設見学ツアー』や『老後の共同住宅』が企画され、遠いのか近いのか？いづれ私にもやってくる選択のためにと参加した。それまでは、私のその時・さらには、自分らしさをすっかり失った姿を想像しては気に病んでいた。でもいろんな情報が入るうちに、自分でどうしようもできないことを先取りし悔やむのはよそう……いよいよの時がくれば次世代にまかせせるしかないのだから……と思えるようになり、心がふつと軽くなった。そんなことより、少しでも私らしさが残っている時の方がもつと大切だ。無理せず、甘えず、でも甘えられる身内や友を（身近に）感じたい！話し合いを重ねながら、家づくりする子育て家族たち、路地をはさむ京町家で、励まし合いながら物作りする若者たちがいる……いつか見た映像の中のそんな彼らが少し羨ましい。老年世代の我らにも何か光るものがあるはずだ。世代を超え、知恵や優しさを分かち合い、支え合ってほっこり暮らすことのできる大きな輪・小さな輪でつながる社会や、システムの一層の充実を待ちわびている。 N・A

しなよかなつづやき

6月の「3A方式リーダー養成講座」にゲームを楽しみながら脳の活性をと参加したものの、不器用な私は結構真剣になっていた。その中のひとつ、ビンゴゲームで川の名前を九つ表に書き入れよというところで、とっさに出てきたのが子供の頃に親しんだ「小畑川」だった。誰も知らない川についてインストラクターの方に尋ねられるまま、タイムスリップしたようにその時の自由だった開放感がよみがえってきた。夏になると近くの子供等はそこでよく遊んだ。禁止されていなかったのか、親が付き添っていたのか全く記憶にない。それからまもなく小学校にプールが造られて川に行くこともなくなり、いつの間にやら川の周囲も整備されてすっかり様変わりし公園や住宅街になった。

そして今、こうして昔の思い出話をしている自分に「あ……」私もこんな域に入ったのかとショックを覚えた。しかし昔話をするのも認知症の予防になるのだとか。まー、良しとしましょうか！ by 鈴木